おいしい庄内空港脱炭素化推進計画（概要）

山形県

１．基本的な事項

〇空港の特徴
・庄内空港は山形県酒田市及び鶴岡市に立地する地方管理空港である。
・滑走路１本と旅客ターミナル１棟を有しており、乗降客数約35万人、着陸回数2,380回（2023年）を取り扱っている。

〇空港脱炭素化に向けた方針
・空港施設や灯火のLED化、空港車両のEV化等の省エネのほか、再生可能エネルギーの導入などに取り組む。

２.温室効果ガスの排出量

区分		温室効果ガス排出量[ｔ/年]	
		2013年	現状（2023年）
空港施設		1.05千	0.56千
空港車両		0.07千	0.09千
空港施設・車両　計		1.12千	0.65千
（参考）	航空機	1.5千	1.4千
	空港アクセス	1.6千	1.5千

３.温室効果ガスの削減目標

2030年度目標	2013年度比　50.0%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル

４．主な取組

・2030年度：空港施設や航空灯火のLED化、空港車両のEV化による省エネに取り組む。
・2050年度：太陽光発電設備の導入を検討。



取組の実施箇所

その他の取組

・地域連携・レジリエンス：災害時に周辺地域のEV充電需要への対応を検討する。
・意識醸成・啓発活動等　：協議会で取組成果の確認や課題等を共有し、空港利用者及び利用者への理解促進の取組につなげる。